

## 町政を問う!



尾元 武 議員

### 再発防止に抜本的な対策を

**問** わずか9カ月余りの間にける年2回の大規模断水は、橋一本で本土と繋がる本町のライフラインの脆弱さを露呈した。

今こそ直面する断水の再発防止や不測の事態に備えたライフラインの見直し、また、地域の防災組織の連携見直し等、早急かつ抜本的な対策が必要と考えるが、町長の考えを伺う。

**答** 11月2日、国の関係機関に対し、第二の送水管の開設や町内での非常用第二水源の確保に対する財政支援などを要望す



給水活動に臨む消防団員

るため上京した。

柳井地域広域水道企業団との契約に基づく受水費を負担しながら、非常用水源の維持管理費用を極力水道料金に転嫁しないで済むよう、旧水源や屋代ダム等、町内で非常時に可搬浄水機を使用し、給水活動などに活用できる水源を確保するため、その調査費を来年度予算に計上す

る予定である。

また、井戸水の提供等、積極的な取り組みに対しお礼を申し上げるとともに、互助・共助意識の醸成にも努めてまいりたい。

**意見** この度の事故後の対応や日ごろからの備えについては防災対策特別委員会でも検証し、災害に強い町づくりに向けた検討を行っていききたいと考える。

### 病院事業局

#### 改革その進捗状況は

**問** 合併時、約90億円あった基金は29年度決算では約47億円となり、今後5年以内に枯渇する。

昨年9月に、(株)日本経営から現状分析から見た病院事業局の将来についての推計では、特に介護老人保健施設は、人件費等の問題で黒字経営は困難である。

また、人口減少に伴う病床削減も必要なことから待ったなしの改革が必要という、大変ショッキングな内容であった。

そこで改革の進捗状況・説明

会を含めたスケジュール・改革の内容・手法について報告を求めらる。

**答** これまで、3病院・2介護老人保健施設・大島看護専門学校・訪問看護ステーション・4居宅介護支援事業所を維持しながら経営改善に努めてきたが、各施設が赤字となり、収支改善の見込みが少なく現在に至っている。

委任契約をしている(株)日本経営と協議を重ね、今年度为目标に改革案やスケジュール案を示したい。

また短期的改善として、平成30年度の給与改定の見送りや、毎年実施してきた定期昇給の延伸も予定し理解を求めている。

医療・介護分野については、施設基準や人員基準の厳しい法令等の規制、また、起債の返済や交付税への影響等もあり、何より周防大島町の医療介護の確保にとどまらず、町全体に関わる重要な要素でもあるのでご理解をいただきたい。